

上田市公文書館だより / 第17号

■公文書館から



地域の公文書館の役割とは

国立公文書館の研修「アーカイブズⅡ」にリモートで参加しました。研修テーマは、①コロナ禍における事業活動と②教育機関との連携で、国内外の施設からIT技術を利用した先進事例の報告がありました。今日のコロナ禍の状況では「非来館型サービス」の工夫や充実がどこの館でも課題となっていました。また、教育機関との連携では、中学・高校向け教育プログラム開発の報告があり、所蔵資料を学校で活用してもらうための指導案作りの苦労話を聞くことができました。学校では、通常、国全体の歴史（一国史）を学習するので、残念ながら地域の公文書館が所蔵するローカル資料の出番はあまりないが、しかし、それらを一国史と関連付けて見ていけば十分生かせるとのこと。参考にしたいと思います。（土屋）

■公文書館の催し （注）新型コロナの状況で延期・中止があります。ホームページか電話で事前にご確認ください。

その1 〈第9回公文書館所蔵品企画展〉

『改訂鎮台条例』から上田市民会館の建設まで ー明治・大正・昭和の公文書にみる上田地域の歴史ー

- 期 間 5月15日(日)まで
- 説明会 4月10日(日)午前10時・11時・午後1時・2時から各5名定員
- 観覧料 無料

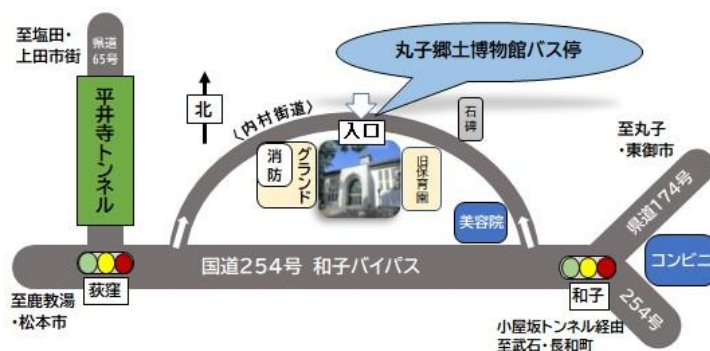
その2 〈上田市公文書館開館3周年記念 公文書館・郷土博物館共同企画展〉

「所蔵資料でたどる上田・丸子地域の製糸、絹糸紡績の歩み」

依田社を軸に、関係者の足跡や当時の世相などを所蔵資料や記録映像で紹介します。

- 期 間 3月26日(土)から5月29日(日)まで
- 説明会 4月29日(金)・5月15日(日)の午前10時・11時・午後1時・2時から各5名定員。参加申込は4月22日(金)から電話またはメールで。
- 観覧料 100円(郷土博物館入館料)

■公文書館のご案内 開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）



□住所・電話

〒386-0413 長野県上田市東内 2564-1
Tel.0268(75)6682 Fax0268(75)6683

□メール

kobunshokan@city.ueda.nagano.jp

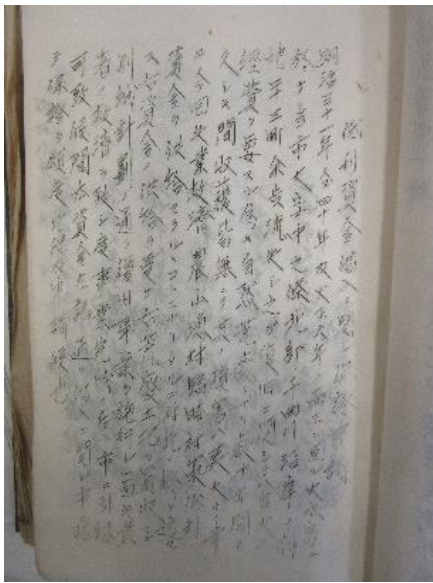
□ホームページ

上田市ホームページ内を公文書館で検索

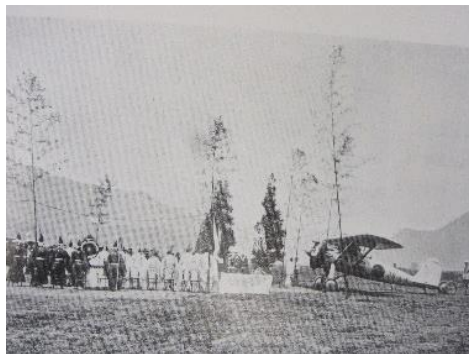
■公文書館所蔵資料の紹介

「上田市営飛行場の完成」関係文書(昭和6年)

◆昭和6年(1931年)の「上田市会議案綴」には4月30日付で提出された「議案第41号」文書が保存されていました。この内容は「低利資金借入に関し保証申請」として、「明治三十一年・四十年・大正六年の大水害において、中之条北部の千曲川沿岸の地二十三町余歩が流失し、この復旧には多大の経費を要するため自然荒廃となり、数十年間収穫は皆無でその損害は甚大である」と記しています。◆続いて「幸いに今回失業救済農山漁村臨時対策低利資金を供給していただくことになり、荒廃土地を買収することとなった。別紙計画の通り復旧事業を施行し、失業者の救済をし、事業完成後は市に事業を引き継ぎたいので、資金の借入に関して市の保証をお願いしたく申請する」旨、記述しています。◆この荒地の復旧事業は、昭和恐慌の不況にあえぐ農村の失業救済事業のため「金二万八千六百円」の低利資金によって、開墾に着手されました。しかし耕地としては不適格なため時代に適応した飛行場建設に変更され、昭和6年10月に完成して上田飛行場開場式が挙行されました。◆この上田飛行場は本州中部航空路の重要飛行場となり、翌年の8月には陸軍省に献納され、軍用機の訓練が行われました。なお、昭和6年9月には満州事変が起こっており、国内は次第に戦時体制へと進んでいきました。(倉澤)



「低利資金借入に関し保証申請」文書



昭和6年10月17日に行われた上田飛行場開場式

■公文書館の利用

※公文書館は入場無料、郷土博物館展示室は有料(大人100円)



- 資料検索→目録検索システムをご利用ください。
- 閲覧申込→所定用紙でお申込みください。メール、ファックスでも可。一度に閲覧できるのは「5点」までです。
- 資料閲覧→個人情報の審査終了後、閲覧可否を連絡します。なお、館外貸出しは行いませんので閲覧室でご覧ください。

※審査に時間を要する場合があります。個人情報が含まれる資料は閲覧できない場合があります。目録検索システムのご利用、閲覧申込書のダウンロードは、上田市ホームページ内の公文書館ページからどうぞ。